

## 関宿城下を巡る

今回は、千葉県の最北端、野田・関宿をケーススタディーとし、公的に水運管理を担っていた関宿藩と醤油醸造を中心に発達していった野田との関連性や、多様な地域文化を創出するにいたった経緯を知ること、文化と交通の相関性について理解を深めました。

日 時	平成 21 年 6 月 13 日 (土)
	午前 10 時から午後 5 時 50 分
	( JR 南柏駅集合 バス移動 JR 柏駅解散 )
場 所	もの知りしょうゆ館、千葉県立関宿城博物館とその周辺
日 程	10:00 JR 南柏駅 集合出発
	バス移動
	11:00 - 12:00 もの知りしょうゆ館
	バス移動
	12:40 - 14:00 千葉県立関宿城博物館
	昼食後、見学・解説
	徒歩
	14:00 - 16:20 関宿城下散策 ( 本丸跡、関所跡など )
	徒歩 ( 約 4 km )
	バス移動
	17:50 JR 柏駅 解散

### 【おもな見学内容】

もの知りしょうゆ館:発酵調味料しょうゆの歴史と文化を学びます(キッコーマン野田工場内)。

千葉県立関宿城博物館:常設展示の見学を通じ、江戸時代に盛んだった水運と関宿藩の役割、そして関宿や野田の成り立ちについて学びます。

関宿城下:本丸跡や関所跡など、関宿城周辺の史跡や町並みなどについて、解説を交え見学します。

南柏駅からバスはスタート。車中では、下知識にと、利根川東遷関連のビデオを見ながらの移動です。

## 野田と醤油

>>> もの知りしょうゆ館

今から約400年ほど前、江戸幕府が成立（1603）してまもなく、野田で醤油造りが本格的にはじまりました。野田周辺では原料の大豆や小麦がたくさん穫れ、塩は江戸川を利用して船で運ぶことができました。さらに大消費地である江戸にも近かったことから、こうした地の利を活かした醤油醸造は大いに繁栄していきました。江戸の町は、18世紀初頭にはすでに人口100万を越す大都市となっており、当時、ロンドンの人口は約55万、パリでも50万人程度で、江戸はまさに世界一の巨大都市となっていたのです。

その後、大正6年（1917）に醸造家たちが合同して野田醤油株式会社を、昭和39年（1964）にはキッコーマン醤油株式会社に、そして昭和55年（1980）にはキッコーマン株式会社と社名を変更して、現在にいたっています。今日では、世界の約100ヶ国以上に輸出され、海外でも工場生産されるようになっています。



大日本物産図会・下総国醤油製造之図



キッコーマンもの知りしょうゆ館



まずはじめに、ガイダンス映像を見ます。続いて館内を巡り、解説を聞きながら醤油醸造について学びます。

しょうゆ館での見学が終わると、バスは一路、千葉県最北端の関宿へ。幸いにして、天候にも恵まれました。

### 関宿藩と水運

>>> 県立関宿城博物館

天正18年(1590)家康が秀吉から関東の地を与えられ、江戸に入府すると、関東の河川は数度の大工事を経て、ほぼ現在のような流れに整えられました。このなかで、江戸(東京)湾に注いでいた利根川も東へ遷(うつ)されて、銚子から外海へと注ぐようになったのです。こうした新しい川の流れは、やがて北海道や東北の物資を江戸の町に運ぶ際の重要な交通ルートとなっていきます。このルートを使って江戸に向かう船は、必ず関宿を通して江戸川に入らなければならなかったため、幕府はこの地を重視し、関宿藩を置いて河川通行のための専用の関所を設けることで管理体制を築いたのです。関宿の地は、船頭や商人・旅人、そして多くの物資が行き交い、往時はたいへんにぎわいをみせていました。



関宿関所と棒だし(利根川と江戸川の分岐点)



関宿城(県立関宿城博物館)



天守閣からみた利根川と江戸川の分岐点



博物館内での説明のようす



続いて関宿城下へ。博物館の学芸員さんに同行していただき、解説を聞きながら、各所に点在する史跡等々を巡りました。

## 関宿城下を巡る

### >>> 関宿城周辺

関宿藩の起こりは、家康の入府（1590）の際に、異父弟の松平康元に2万石を与え、関宿城主としたことにはじまります。関宿城は江戸幕府の外城のひとつとして位置づけられ、関宿藩は東北外様諸大名に対する備えや、関宿関所（水番所・川関所）の管理等に関わる藩として重要視されました。藩主は8家23代にわたっていますが、幕府は小笠原氏、牧野氏、板倉氏など、有力な譜代大名を配してきました。なかでも久世氏の治世が最も長く、幕末まで9代の藩主を数えましたが、老中をはじめとする幕府の要職を歴任する地位で、幕政にも深く関与していたのです。

その後、明治2年（1869）版籍奉還を経て、明治4年（1871）の廃藩置県によって、関宿県が置かれ、関宿藩は廃止されました。



散策のようす。陽射しも強く、日傘を差す方も・・・。



関宿城址



関宿関所跡



鍵の手十字路

かくして、見学は無事終了。たいへん有意義な1日を過ごすことができました。参加者の皆様、お疲れ様でした。そして、ご協力ありがとうございました。

### 参加者の声

- ・水運の歴史、現在の江戸川の役割などがよくわかって楽しい1日でした。
- ・説明を受けないと見過ごしてしまう史跡をていねいに説明していただき、ありがとうございました。
- ・ていねいな説明で関宿に親しみを強く感じました。楽しい時間が過ごせました。
- ・いろいろな史跡が見れてよかった。
- ・鈴木貫太郎の生家を見られなかったのが残念。でも関宿まで行けたのが良かったです。
- ・博物館の中をもう少しゆっくり見学したかった。
- ・醤油工場がよかった。

